



アートスパークホールディングス株式会社

2016年12月期 第4四半期

決算説明補足資料

目次

	1. 業績ハイライト	
	1-1. 連結損益計算書	2
	1-2. 連結貸借対照表	3
	1-3. 事業セグメント別損益の状況	4
	2. 事業セグメント別の概況	
	2-1. クリエイターサポート事業	5
	2-2. コンテンツソリューション事業	6
	2-3. UI/UX事業	7
	3. 2017年12月期予想	8
	4. 2017年12月期の主要施策	9
	ご質問、お問い合わせ、免責事項等	15

1-1.連結損益計算書

単位：千円

	2015年12月期	2016年12月期	前年比
売上高	4,156,911	3,835,853	▲7.7%
営業利益	88,488	500,504	465.6%
経常利益	62,226	477,045	666.6%
純利益	34,791	337,150	869.1%

■業績の概況

- ・売上高：連結孫会社エイチアイ関西の売却の影響等により前年同期321,058千円減少
- ・営業利益：事業構造改革等、経営体質強化の成果により前年同期412,016千円増加
- ・経常利益：営業外費用で支払利息、為替差損等、合計28,070千円により477,045千円の経常利益
- ・純利益：投資有価証券評価損、投資有価証券売却損、ソフトウェア減損処理による特別損失計上、税金費用等により337,150千円の純利益

■トピック（2016年1月～12月）

- ・前期に引き続きクリエイターサポート事業及びUI／UX事業を中心に注力
- ・第3四半期会計期間における孫会社株式会社エイチアイ関西の株式譲渡により、第3四半期以降の財務諸表には同社を含まず

1-2.連結貸借対照表

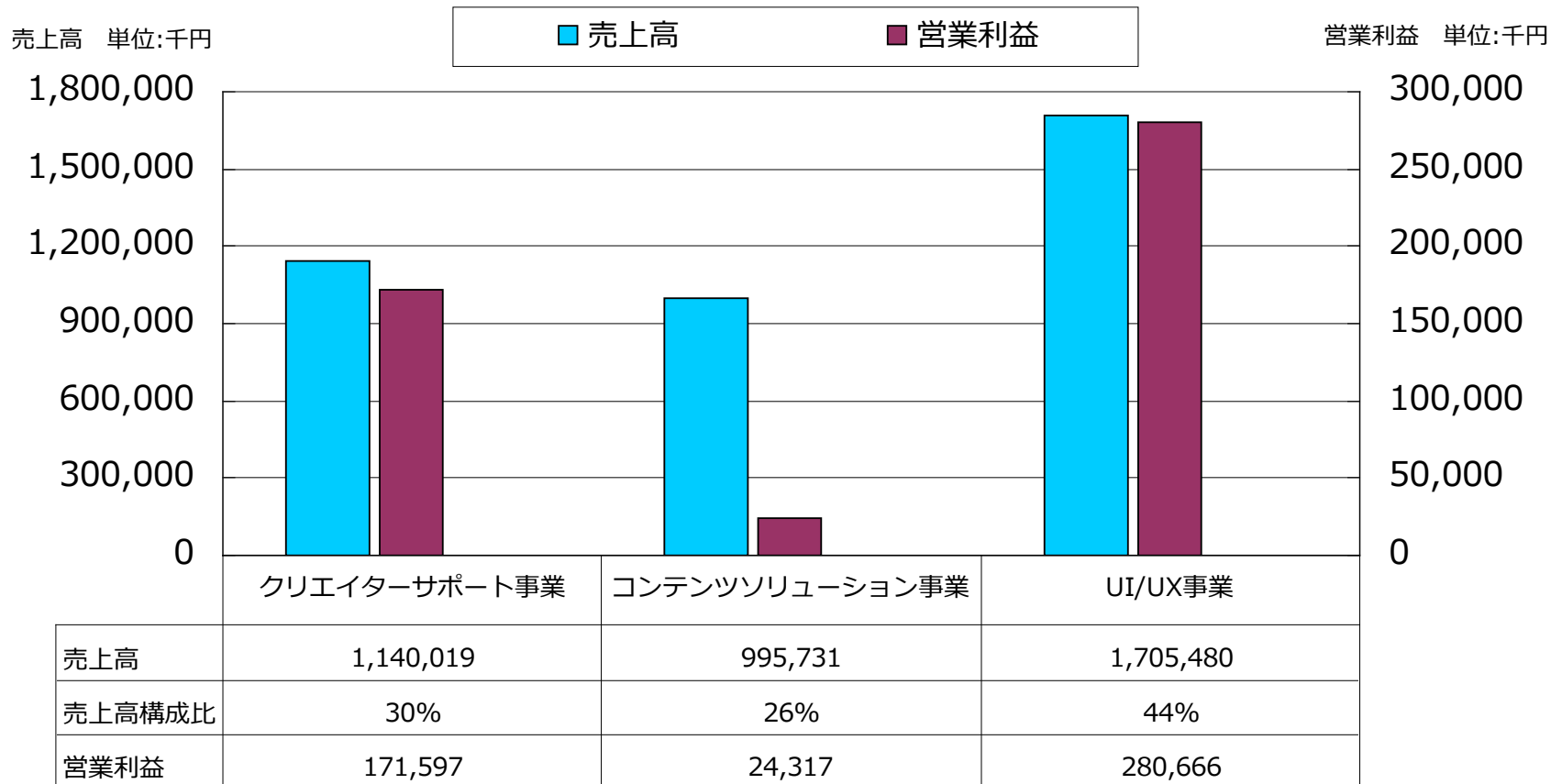
単位：千円

	前連結会計年度末 (2015年12月末日)		当連結会計年度末 (2016年12月末日)		
	金額	構成比	金額	構成比	前期末増減額
流動資産	2,085,545	57.9%	2,542,140	68.7%	456,595
固定資産	1,514,332	42.0%	1,156,935	31.3%	△357,397
繰延資産	3,043	0.1%	608	0.0%	△2,435
資産合計	3,602,921	100.0%	3,699,684	100.0%	96,763
流動負債	975,882	27.1%	756,137	20.4%	△219,745
固定負債	187,233	5.2%	145,328	3.9%	△41,905
負債合計	1,163,115	32.3%	901,466	24.4%	△261,649
純資産合計	2,439,806	67.7%	2,798,218	75.6%	358,412
負債・純資産合計	3,602,921	100.0%	3,699,684	100.0%	96,763

■主な増減の内容

- ・資産の部：現金及び預金の増加＋828,594千円、売掛金の減少－231,037千円、仕掛品の減少－76,160千円、ソフトウェアの減少－42,156千円、ソフトウェア仮勘定の減少－254,762千円、投資有価証券の減少－44,931千円
- ・負債の部：未払法人税等の増加＋20,844千円、買掛金の減少－81,595千円、短期借入金の減少－43,304千円、1年内返済予定長期借入金の減少－72,508千円、長期借入金の減少－50,639千円
- ・純資産の部：ストック・オプション権利行使により資本金・資本剰余金の増加＋65,130千円、当期純利益計上により利益剰余金の増加＋323,735千円

1-3.事業セグメント別損益の状況



■売上高

- ・クリエイターサポート事業が17.6%増加、コンテンツソリューション事業は11.3%減少、UI/UX事業は17.6%減少

■営業損益

- ・クリエイターサポート事業、コンテンツソリューション事業、UI/UX事業、それぞれ増益

2-1.クリエイターサポート事業

単位：千円

	2015年12月期	2016年12月期	前年比
売 上 高	964,642	1,134,641	17.6%
営 業 損 益	135,304	171,597	26.8%

■業績の概要

売上高では、対前年同期で169,999千円の増加となり、営業損益では、対前年同期で36,293千円の増加となりました

■トピック（2016年1月～12月）

- ・セルシスが「BCN AWARD2016」を受賞、グラフィクスソフトウェア部門のNo. 1 メーカーに
- ・早稲田大学基幹理工学部の研究室とともにグラフィクス分野の機械学習研究を開始
- ・創作応援サイト「CLIP STUDIO」の登録者数は74万人を突破（12月末時点）
- ・クリエイターのためのSNS「pixiv」を提供するピクシブ社がコラボ、オリジナルパッケージの「CLIP STUDIO PAINT pixiv」を発売
- ・スマホ用お絵描きアプリ「アイビスペイント」×「CLIP STUDIO PAINT」が連携

2-2.コンテンツソリューション事業

単位：千円

	2015年12月期	2016年12月期	前年比
売 上 高	1,122,084	995,731	△11.3%
営 業 損 益	6,190	24,317	292.8%

■業績の概要

売上高では、対前年同期126,353千円減少となり、営業損益では対前年同期18,127千円の増加となりました

■トピック（2016年1月～12月）

- Webブラウザ上で作動する電子書籍ビューア「BS Reader for Browser」が、iPhoneSE、9.7インチiPadPro、iPhone/iPad向け最新OSのiOS10に対応
- 「BS Reader for Browser」と株式会社メディアドゥのコンテンツ配信システム「md-dc」を組み合わせたブラウザビューアソリューションが、楽天株式会社の「楽天マンガ」、株式会社ゲオインタラクティブの「GEOマンガ」に採用



2-3.UI/UX事業

単位：千円

	2015年12月期	2016年12月期	前年比
売 上 高	2,070,184	1,705,480	△17.6%
営 業 損 益	△88,351	280,666	—

■業績の概要

構造改革の一環として、7月に連結孫会社株式会社エイチアイ関西の保有全株式の譲渡、当第3四半期以降は連結範囲から除外、売上高では、対前年同期364,704千円減少となり、営業損益では、対前年同期369,017千円の増加となりました

■トピック（2016年1月～12月）

- ・「exbeans UI Conductor」が、パナソニック株式会社のOEM向けディスプレイオーディオに採用、また、セイコーエプソン社製カラリオプリンター「EP-879AW/AB/AR」、富士通テン社製車載用AV機器及び家庭用音響機器ブランド「ECLIPSE」より発売のカーナビシステム「AVN」に搭載
- ・東京ビッグサイトでの「オートモティブワールド」、ドイツ・ベルリンでの「CAR HMI EUROPE 2016」、その他イベント・フェアに出展し、自動車業界における「Tier-1」メーカーとして、自社IP製品を核とするビジネス創出を推進
- ・組込機器向けスケーラブルフォント描画エンジン「Higlyph」が累計出荷台数4,000万台を突破

3.2017年12月期予想

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)	1株当たり 配当金 (円)
第2四半期 (累計)	1,652	143	133	110	16.22	—
通期	3,482	375	353	297	43.81	4.00

2016年12月期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)	1株当たり 配当金 (円)
第2四半期 (累計)	2,256	457	430	368	54.53	—
通期	3,835	500	477	337	49.80	3.00

4.2017年12月期の主要施策

1.ソフトウェアIPを核とした経営に重点

2.引き続き、開発リソースの戦略的配置等、経営効率向上に注力

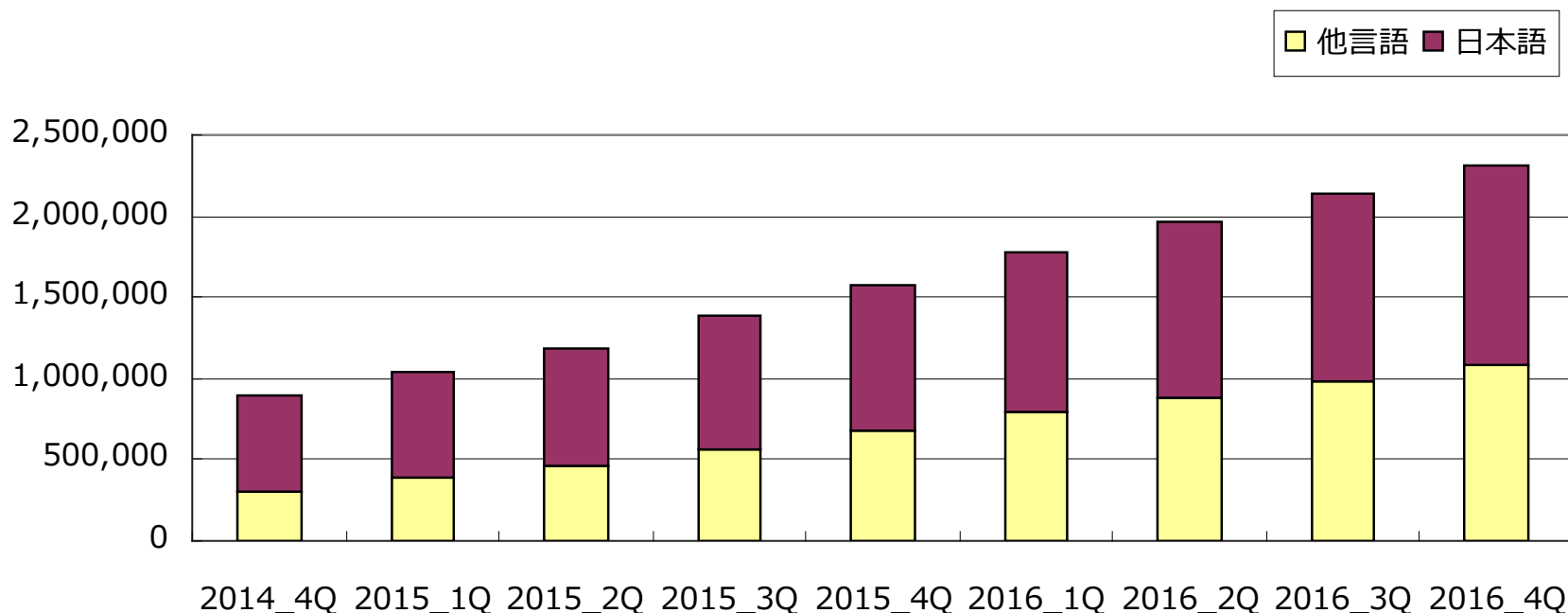
3.CLIP STUDIOの開発・提供を継続し、グローバル展開を加速

4.CLIP STUDIOプラットフォームを活用したコンテンツ制作
・流通・再生にまつわるサービスの提供

5.自動車を中心とした様々な組込み機器向けにノウハウを集中、
ビジネスを強かに推進
(自社IP製品：UI Conductor、Affinity、VI Transfer等)

6.UX向上のための高品質で先進的なUIのデザイン・企画
・コンサルティングの提供

4-3.CLIP STUDIOグローバル展開を加速



- ・「CLIP STUDIO PAINT」は2013年9月から英語版、繁体字版、2014年7月からフランス語版、スペイン語版、2016年5月から韓国語版をリリースし、多言語に対応
- ・「CLIP STUDIO PAINT」の累計出荷本数が全世界で200万本を突破
- ・北米向けパッケージ版の名称を「Manga STUDIO 5」から「CLIP STUDIO PAINT」に統一
- ・KADOKAWA Contents Academy タイ校が「CLIP STUDIO PAINT」を教材として採用

4-4.CLIP STUDIOプラットフォームを活用

クリエイターに必要な”すべて”をつなぐ

ソフトウェア

プロセス

環境

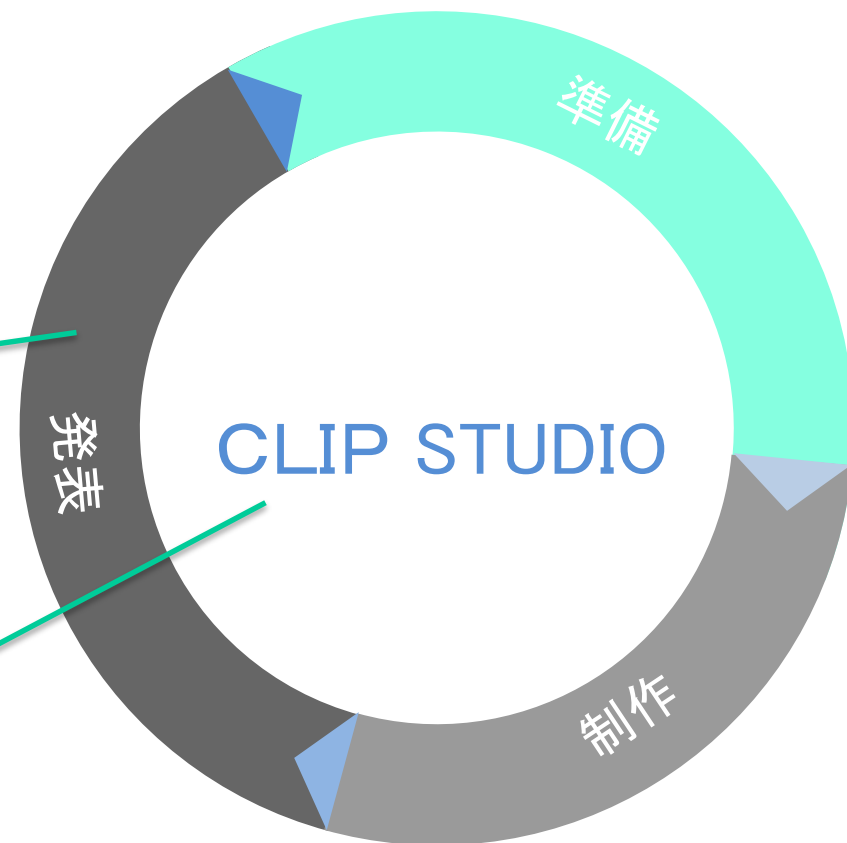
サービス

人

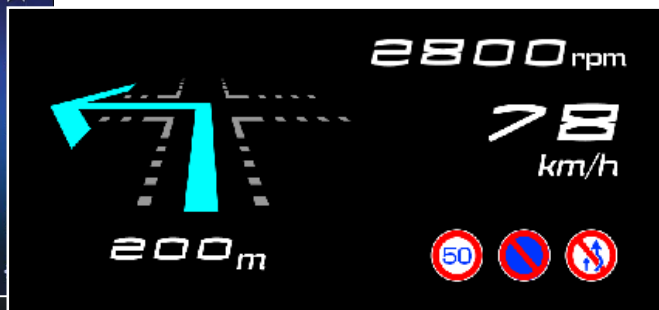
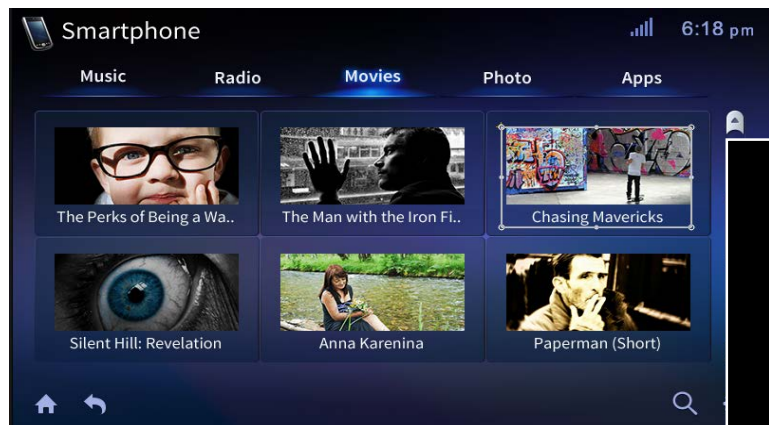
情報・コンテンツ

2D・3D・電子書籍で培った
ノウハウの融合により、
クリエイターに新たな価値を提供

全世界・マルチデバイス等
でユーザーを拡大



4-5.exbeans UI Conductor (エックスビーンズ ユーアイ コンダクター)



組込HMIを開発するための統合的なソフトウェア群

ツール上で素材配置、インタラクション設定、アニメーション設定をオーサリングした、プロジェクトデータを実装環境上で量産開発することができます。

市場ニーズに応じ、随時バージョンアップを行っており、最新バージョンでは、3D機能の強化とマルチプレビューの対応等の新機能を追加し、UI / UX開発の効率化に貢献できるソフトウェアになっております。

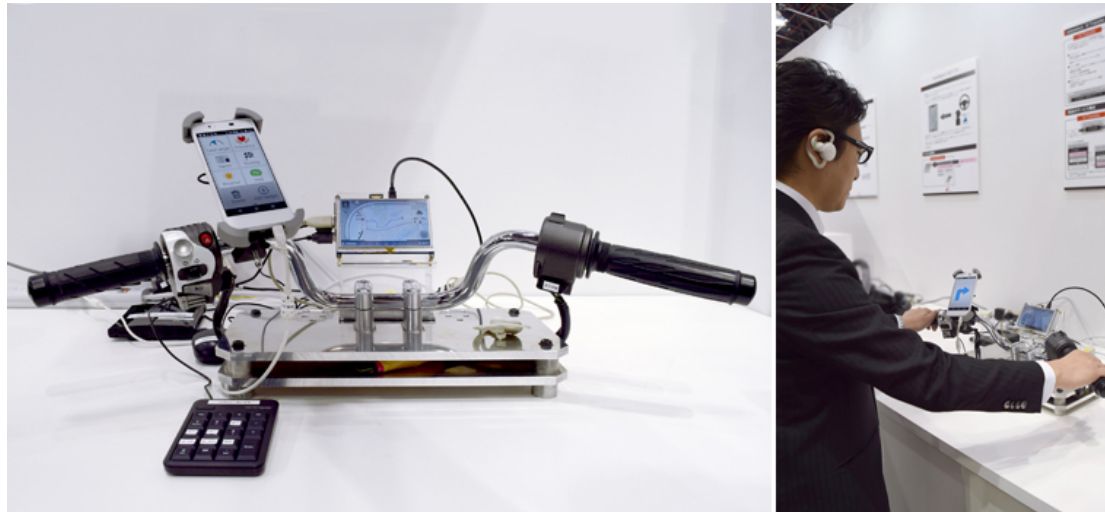
4-5. exbeans Affinity (エクスビーンズ アフィニティ)



Webアプリケーションプラットフォーム

テレマティクスサービス（自動車等に携帯電話等を利用してサービスを提供すること）を始めとした様々なサービスを実現するための汎用ライブラリであり、また柔軟なサービスアプリ開発に耐えられるコアライブラリです。Webアプリケーションプラットフォームとして利用することで、容易に情報配信や更新、情報収集が可能です。

4-5. exbeans VI Transfer (エックスビーンズ ブイアイトランスファ)



※イメージ写真になります。(実際の装備はワイヤレス)



新たに提供した車両情報伝達ソフトウェア

二輪、四輪をはじめとする車両から得られる情報（CAN情報）を、アプリケーションへ伝達する汎用モジュールであり、アプリケーション側は、取得した情報を利用したサービスを提供することができます。前出の「exbeans Affinity」と組み合わせることで、Affinity上で構築したWebサービスを利用することができます。



【IR窓口】

Tel : 03-6820-9590
Email : ir@artspark.co.jp

本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2016年12月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見/予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。